令和５年度通常総会

議案書

公益社団法人高槻市観光協会

総　会　議　案

（１）令和４年度（第５５期）事業報告の承認について

（２）令和４年度（第５５期）会計決算報告書の承認について

監　査　報　告

（３）令和５年度（第５６期）事業計画（案）の承認について

（４）令和５年度（第５６期）会計収支予算（案）の承認について

（５）役員の改選について

（６）定款の改正について

（７）その他

令和４年度（第５５期）事業報告書

令和４年度に入っても、新型コロナウイルスの感染者数の増減が、繰り返されてきましたが、特に、秋以降については、感染状況に地域差はみられたものの、増加速度も鈍化傾向がみられようになりました。それに呼応するかのように、市内で行われる主要なイベントも１０月以降、多くが再開される状況となり、漸く賑わいが戻り始めるようになりました。

ところで、令和４年度における高槻市観光協会の主な事業としては、次のような事業を実施しました。まず、高槻市、高槻商工会議所、高槻市観光協会の３者で取組を進める体験交流型観光「オープンたかつき」事業については、コロナ禍の影響を受けながらも、参加者への安全に配慮して、１年を通じて８２プログラムを実施しました。この中で、旅行プログラムの一つでは、旅行事業者の登録資格を活用し、国が進める全国旅行支援の補助金を受けて、日帰り旅行費用を安く抑えることが出来ました。

また、将棋の関係では、第７２期王将戦七番勝負第２局高槻対局の前夜祭や大盤解説会の運営を高槻市からの委託を受けて取り組みました。今年は、王将のタイトルホルダーである藤井聡太５冠に通算獲得タイトル１００期をかけて羽生善治九段が挑戦するという、世代を超えたスター同士の対決となり、大いに注目を集めました。また、市制施行８０周年記念事業の一環として、高槻城公園芸術文化劇場において、令和５年５月１３、１４日に予定される第８１期名人戦の準備を進めました。

その他、高槻市制施行８０周年を記念して、たかつき観光大使「高槻やよい」のラッピングバスや記念乗車券の制作への協力など、新たな観光プロモーションの推進に取組みました。

また、高槻市の活気のあるまちづくりに貢献するという「高槻市観光協会」のプレゼンスを高めるため、高槻市内で開催される「高槻ジャズストリート」を始め、「安満遺跡青銅祭」、「古墳フェス come come はにコット」など主要な事業の共催や後援することを通じて、協力金を交付することにより、事業連携の強化を図りました。これまでの「高槻市観光協会のあり方検討」や「事務処理規則などの全面的な見直し」、「財務状況の改善」などに併せて、「観光協会改革」の最終段階として位置付けて取り組み、市内で活性化に貢献するという高槻市観光協会の組織コンセプトの明確化を図りました。これらにより、新たなステージへの飛躍に向けて条件が整うことになりました。

なお、本年度の事業実施内容の詳細については、２．事業報告のとおりであり、資料１に示す事業体系図に基づき観光事業を実施しました。

１．事項目別状況

（１）会議

（ア）令和４年度
通常総会　令和４年　６月１６日　於）高槻商工会議所大ホール

（イ）理事会
第１回　　令和４年　５月２４日　於）山水館会議室
第２回　　令和４年　９月２９日　於）高槻商工会議所会議室
第３回　　令和５年　３月２９日　於）高槻商工会議所会議室

（２）監査　　令和５年　５月　２２日　於）エミル高槻内会議室

（３）組織（令和５年３月３１日現在）

ア．正会員　　１７４名
イ．顧問　　１名
ウ．役員　理事１９名　監事２名

２．事　業　報　告

（１）観光企画事業

Ａ．観光協会主催事業

① 令和４年摂津峡さくら祭り

令和４年の摂津峡さくら祭りは、当初３月２６日～４月１０日に開催を予定していましたが、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響でイベントをはじめ、ボンボリ等の掲飾やライトアップ、出店等すべて中止しました。摂津峡さくら祭り実施対策協議会事務局として、花見客への交通対策の実施と、宴会等、飲食を伴う花見の自粛を呼びかけました。

桜が開花した時の摂津峡公園の風景

② 紅葉の神峯山寺、写経と座禅の集い

「オープンたかつき」事業と連携して、紅葉の季節に併せて神峯山寺の協力を得て、近藤孝道住職によるお話の後、座禅･写経の会を行い、多忙な日常から離れて、古刹の厳かな雰囲気の中で有意義な時間を過ごしました。本年は11月16日に開催し、座禅会と写経会に６名の参加がありました。

神峯山寺での座禅と写経の風景

③ 第４回あま弥生の観月会

秋の夜長を愉しもうとの趣旨で、安満遺跡公園において１０月９日に開催された「第４回あま弥生の観月会」を後援し、観月会を実施しました。当日は、残念ながら雨天で、紙芝居や影絵などの室内事業のみの開催となりました。なお、例年実施する伊勢寺での十三夜観月会については、コロナ禍の状況をから、昨年に引き続き、開催を断念しました。

あま弥生の観月会の風景

④ 富田寺内町巡りと「壽酒造」「清鶴酒造」の酒蔵見学会

「オープンたかつき」事業と連携して、新酒が仕込まれる時期にあわせて、新酒に舌鼓を打ち、歴史ある富田の蔵元の酒蔵見学会を老舗酒造２社の協力を得て、２月７日に開催しました。午前午後合わせて４８名の参加がありました。

酒蔵見学会の風景

⑤ 第７２期王将戦七番勝負第二局の開催

藤井聡太王将と羽生善治九段の注目の戦いとなった、将棋の８大タイトル戦の一つである王将戦の第７２期王将戦七番勝負第２局が令和５年１月２１日（土）、２２日（日）の両日にわたって、摂津峡「山水館」で開催されました。新型コロナウイルス感染症の安全対策に配慮する中で、第二局対戦の前日の２０日に前夜祭をホテルアベストグランデ高槻で開催し、対

局当日の２１日、２２日には、高槻現代劇場レセプションルームにおいて大盤解説会を開催しました。事前申込により他府県からも多くの応募をいただき、開催することが出来ました。

第７２期王将戦七番勝負第二局前夜祭と大盤解説会の風景

⑥ 第４２回 たかつき芸能フェスティバルの開催

３月１２日（日）、高槻現代劇場中ホールにおいて「第４２回 たかつき芸能フェスティバル」を開催しました。高槻市内で活動する日本舞踊の１５会派、約１１０人による華やかな演舞が披露され、多くの来場者で会場が埋まりました。

第４２回 たかつき芸能フェスティバルの写真

Ｂ．観光協働事業

① 「オープンたかつき」の共催

平成２８年度からスタートした「オープンたかつき」も６年目をむかえ、市内外の人たちが、高槻の多様な魅力に触れていただく、まち歩きや体験プログラム型の着地型観光を展開するため、高槻市、高槻商工会議所、高槻市観光協会で構成する「オープンたかつき運営会議」が主催し、事務局は高槻市観光協会において実施しています。令和４年度においても新型コロナウイルス感染症による感染者数の増減が繰り返される状況でしたが、「オープンたかつき２０２２春」の２２プログラムを開催しほか、「オープンたかつき２０２２秋」（１０月～１２月）では３８プログラムを、「オープンたかつき２０２３新春」（２

月～３月）は２２プログラムをそれぞれ実施し、コロナ禍の状況下にはありましたが、年間を通じて魅力ある「たかつき時間」を提供しました。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、定員を半数程度に絞り込んだほか、検温や消毒など参加者への安全に配慮して実施したところです。

その結果、募集定員 2,478 名に対して参加者数は２，０４８名で、参加率としては８２．６％でした。「オープンたかつき２０２２秋」及び「オープンたかつき２０２３新春」のアンケート集計結果から参加者属性についてみると、性別では６９．１％が女性、年代は５０代の２３．１％が最多で、４０代が１９．２％と続き、５０歳代以上が５４％以上を占めています。職業別では、３７．５％が主婦、２４．４％が会社員と続きます。居住地別では８６．６％が市内からとなり、「謎解きゲーム」の実施結果を加えると市内からが６５．４％となり、同ゲームの愛好者が市外から多く来られていることになります。

また、オープンたかつきへの参加事業者の方々の意見交換と事業連携を図るため、第６回目となるネットワーク会議を開催しました。今回は、壽酒造（株）のご協力により、プログラムの一つである酒蔵見学会を事業者の皆様に体験していただいた上で、ネットワーク会議を開催し、活発な意見交換を行うことができました。

発行したガイドブック

オープンたかつき開催時の風景

②ホテルアベストグランデ高槻との連携によるヘルスツーリズムの協力実施

株式会社アベストコーポレーションが実施する観光庁の「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」について、高槻市観光協会として、ヘルスツーリズムツアーの企画・実施をアベストコーポレーションから委託を受けました。そこで、「ウォーキングスクール」と「癒やしの朝ヨガ体験」のツアー終了後、同ホテルにおいて地元産野菜を活用したヘルシーメニューでランチタイムを楽しんでいただくプログラムを企画・実施しました。また、同ホテルが実施するツーリズムに関係する健康食品メニューの開発にも協力しました。

ヘルスツーリズムのプログラム実施風景

③「第３０回こいのぼりフェスタ１０００」開催への協力

「こいのぼりフェスタ１０００推進協議会」の構成団体として参画し、芥川桜堤公園に３年ぶりにこいのぼりを泳がせることができ、多くの皆様に楽しんでいただきました。なお、残念ながら、４月２９日のイベント開催当日は、予定されていたステージイベントは雨天のため中止となりました。

こいのぼりフェスタ１０００の風景

④「高槻ジャズストリート」の共催開催と「富田ジャズストリート」の後援

「高槻を音楽溢れる明るく楽しいまちにしよう」との思いから、１９９９年に始まった「高槻ジャズストリート」も２０２２年で２４回目を数え、すべての会場が入場無料で、ボランティアで構成される実行委員会が運営する、日本でも最大級の音楽イベントに成長しました。昨年度は、残念ながらコロナ禍により直前に開催中止となりましたが、第２４回は、約５０会場で約７００バンド、約３，０００人のアーティストが出場し、高槻市内はジャズ演奏一色となりました。第２４回から高槻市観光協会は、共催者の位置付けとなりました。

また、富田地区においても、第４回目となる「富田ジャズストリート」が開催されており、同事業に協力金を交付し後援しました。

高槻ジャズストリートと富田ジャズストリートの風景

⑤「第５３回市民フェスタ高槻まつり２０２２」への協力

残念ながらここ２年間にわたり、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、例年の催しが中止となっていましたが、令和４年度においては、待望の高槻まつりが８月６日、７日に、市役所前けやき通りと桃園小学校グラウンド等に舞台に、「つなげたい、未来へ人の輪、高槻まつり」のテーマで開催されました。高槻市観光協会としては、たかつき観光大使のウルフルケイスケ氏の桃園小学校のステージへの出演と「高槻音頭おどり連」へ９４名で参加しました。

高槻音頭おどり連とウルフルケイスケ氏のステージ風景

⑥「第１１回 J:COM 杯：３月のライオン 子ども将棋大会」開催への協力

「第１１回 J:COM 杯 ３月のライオン 子ども将棋大会」の「関西大会」が８月２７日、古曽部防災公園体育館で開催（高槻市観光協会は後援）され、市内外から参加した多くの小中学生が、１１月に東京で開催される全国大会を目指して熱戦を繰り広げました。

「３月のライオン 子ども将棋大会」の風景

⑦ 「第１４回食の文化祭～高槻ジャズとグルメフェア２０２２」への出店

１０月１５、１６日の両日にわたり、高槻市立第一中学校でのジャズとグルメを楽しむイベント「食の文化祭」が開催され、高槻市観光協会は、高槻やよいやはにたんグッズを販売するブースを出店しました。会場には、人気飲食店が集い、各店の人気メニューなどが提供され、多くの来場者が「高槻の食」を味わいながら、ジャズ演奏を楽しみました。

食の文化祭の風景

⑧「たかつき産業フェスタ２０２２」への協力

高槻商工会議所が高槻市とともに一体となって市内産業振興を目的に開催される「たかつき産業フェスタ２０２２」が、１１月５日に安満遺跡公園において開催されました。高槻市観光協会としては同事業を後援するとともに、高槻市とともにＰＲブースを出店し、観光情報の提供と「たかつき観光アプリ」の普及に努めました。

産業フェスタ２０２２への出店の風景

⑨　「第１０回安満遺跡青銅祭」の開催への協力

今年で第１０回目となる「安満遺跡青銅祭」が、１１月１６日に安満遺跡公園において、高槻ウェーブの演舞や古代ファッションデザインコンテストなど、わがまち高槻に愛着や誇りを持つ機会の提供を目的に開催されました。高槻市観光協会も後援と協力金を交付し開催に協力を行いました。恒例イベント開催ということで、飲食店ブースの出店もあり、多くの来場者で賑わいました。

「安満遺跡青銅祭」の風景

⑩　「第３回たかつき大道芸グランプリ」開催への協力

安満遺跡公園パートナーズが主催する「第３回たかつき大道芸グランプリ」が１１月２１日、安満遺跡公園で開催されました。雨模様の天気でしたが、選ばれた９組が素晴らしいパフォーマンスを披露。昨年に引き続き、けん玉の演技で会場を沸かせた「タイガ」さんに観光協会賞を授与しました。

「たかつき大道芸グランプリ」の風景

⑪「古墳フェス come come*はにコット」開催への協力

１１月２７日、今城塚古墳で古墳フェス「come come* はにコット」が開催されました。ここ２年はコロナ禍でリモート開催が続きましたが、今年は３年ぶりに現地で開催されました。クラフト作家の多数出店により、古墳やはにわをモチーフにしたアイテムが勢ぞろいしたほか、高槻の人気飲食店の出店や音楽ライブなども行われ、久しぶりの現地開催に多くの方々が訪れました。

「古墳フェス come come はにコット」の風景

⑫「高槻魂！！２０２２」への後援と「高槻グルメピクニックフェス in 安満遺跡公園」への協力実施

「高槻魂！！２０２２」が１０月９日に高槻市立桃園小学校で開催され、たかつき観光大使であるウルフルケイスケ氏などが出演した同事業を後援するとともに、１２月３日、４日に開催された「高槻グルメピクニックフェス in 安満遺跡公園」への開催に協力しました。

「高槻魂！！２０２２」と「グルメピクニック」の風景

⑬「第３０回天神まつり」の開催と出店

新型コロナウイルス感染症の影響により、過去３年間にわたり開催を見合わされてきた冬の風物詩「天神まつり」が、２月２５、２６日の両日にわたり４年ぶりに開催され、多くの来場者で賑わいました。観光協会は実行委員会のメンバーとして、姉妹都市若狭町の協力により、同町の特産品販売等を行いました。

天神まつりの出店の風景

⑭ 大阪府が主導する「淀川沿川まちづくりプラットフォーム」への参画

淀川は自然豊かな水辺空間であるとともに、新大阪や大阪等の都心に近く、水上交通が栄えた歴史的背景により、魅力的な施設が多く存在し、精力的な活動団体も多くあります。関西万博も見据えながら、大阪府が主導して、「広域連携型まちづくり」の転換に向けたリーディングプロジェクトとして、「淀川沿川まちづくりプラットフォーム」が組織され、淀川沿川に位置する各市町村の民間の方々と対話を交わしながら、具体的な連携事業が試行的に実施されています。高槻市観光協会もこのプロジェクトに参画し、プラットフォームの下に、枚方市文化観光協会を始め、寝屋川市、門真市、守口市、摂津市などの民間団体とともに「淀川沿川中流域協議会」を組織し連携を深めています。また、八幡市観光協会を始め、石清水八幡宮、大山崎町、島本町などの民間団体で構成する「淀川沿川三川合流域協議会」も組織されており、交流を深めています。

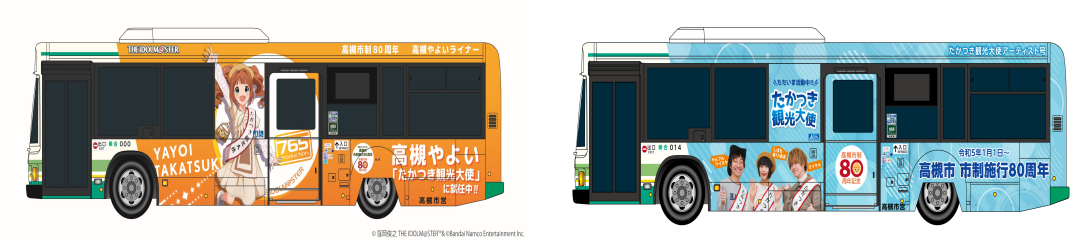
Ｃ．その他の観光関連事業への協力

高槻市の観光を通じたまちづくりを推進するため、「高槻市緑花推進連絡会」、「スクールジャズコンテスト」等へ構成団体として事業実施組織への参画や、「第２２回たかつきアート博覧会」、「高槻酒塾」などへの後援など観光関連事業への協力を行いました。

（２）広報活動・観光案内事業

① 高槻市制施行８０周年に伴うたかつき観光大使のラッピングバスの運行

高槻市は、令和５年１月に市制施行８０周年の節目を迎えました。この記念すべき年を祝賀する機運を高める取組の一つとして、１０月１日から、たかつき観光大使である、ウルフルケイスケさん、「ヤバイＴシャツ屋さん」のしばたありぼぼさん、「夜の本気ダンス」のマイケルさん、高槻やよいさんの写真やビジュアルでラッピングした市営バス 2 台を運行し、新たな客層の開拓やさらなる観光プロモーションの推進に取り組みました。



たかつき観光大使のラッピングバス

②「たかつき観光大使」の活動紹介

５月１８日から２０日、東京ビックサイトで開催された「自治体総合フェア２０２２」で、たかつき観光大使「高槻やよい」の取組が紹介されました。アイドルマスターのアイドルが、自治体の観光大使への就任という先進的な取組であるとの評価をいただき、今回ブースにて紹介されました。

また、８月１１日、「たかつき観光大使」であるしばたありぼぼさん（ヤバイ Ｔ シャツ屋さん）が、地元大阪「ＦＭ８０２」で、出身地である高槻での思い出エピソードや観光スポットなど、地元愛溢れるトークでメインＤＪを務める１時間番組を高槻市と高槻市観光協会がスポンサーとして提供し、情報発信に務めました。

自治体総合フェアの紹介としばたありぼぼさん（たかつき観光大使）の DJ 風景

③ 高槻市観光協会サイト「マル・マルナビ」とオープンたかつき公式サイトの管理運営

高槻市観光協会公式サイト「たかつき〇〇（マル・マル）ナビ」の管理運営を行い、タイムリーな「お知らせ」記事を提供しました。また、「オープンたかつき」の公式サイトの管理､運営を高槻市観光協会で行い、２つの観光情報サイトによって、高槻市内の観光情報検索サイトの充実を図りました。

④　「たかつき観光アプリ」の機能の充実

令和２年度に高槻市内の観光スポットの情報や「オープンたかつき」などのイベント情報を提供する「たかつき観光アプリ」をリリースしましたが、今年度においては、観光アプリの魅力向上を図るため、抽選機能などを追加し、まち歩きにも便利なアプリとしての機能の充実を図り、ダウンロード件数の増加に努めました。

「たかつき観光アプリ」のイメージ

⑤パンフレット等、各種観光情報の提供及びデジタルサイネージによる情報発信

高槻市の豊かな自然や歴史観光を紹介するため、市内観光地をコースで紹介する「高槻散策マップ」（市内全体１１種）や観光イラストマップ、摂津峡公園ハイキングマップなどを無料配布したほか、「高槻市ハイキングコースマップ」の有料販売（１部１５０円）などを行いました。その他、高槻商工

会議所が発行する商工ニュースの毎月各号に「高槻市観光協会だより」を掲載し、観光情報の提供に務めるとともに、日刊紙、ミニコミ紙、各種情報誌等への観光情報の提供を行いました。

また、情報発信の媒体として、阪急高槻市観光協会事務所のデジタルサイネージ２台及びＪＲ高槻駅観光案内所の既設１台とあわせ合計３台の機器を活用して、プロモーションムービーを放映する他、これまでスペースにより紹介できなかったポスターをループさせて掲載しています。

観光協会事務所に設置しているデジタルサイネージ

⑥ 「はにたん」着ぐるみの貸出

高槻市観光協会では、イベントの盛り上げ役として人気のあるはにたんの着ぐるみについて、地域振興活動および企業・個人事業者が催すイベント等のために貸出受付業務を行っています。令和４年度においては、６０件の貸出を行いました。

⑦ 観光・ハイキングボランティアガイド事業

観光ボランティアガイド事業については、オープンたかつきの案内も含めて、４０件、参加者６６６名の方々に高槻市内の観光ガイドを行いました。

また、高槻市の豊かな自然に触れ、安全な山歩きのガイドを行うハイキングボランティアガイド事業については、１件１６名のガイド実施となりました。ボランティアガイド事業も新型コロナウイルス感染症の影響により、ガイドマイクの利用や案内人数を削減するなど、安全対策を講じながら案内を実施しました。

⑧ 高槻市観光協会事務所とＪＲ高槻駅観光案内所での観光案内業務

【高槻市観光協会事務所】

阪急高槻市駅構内（エミル高槻内）の高槻市観光協会事務所（高槻市観光情報コーナー併設）において、市内外に観光情報を発信する拠点として、観光案内業務を行っています。

※通常の案内業務は、年末年始を除く月曜日から金曜日が午前9時から午後5

時まで、土曜日、日曜日及び祝日は午前10時から午後5時まで。

【ＪＲ高槻駅観光案内所】
ＪＲ高槻駅観光案内所については、観光案内及び交通・宿泊・催し等の案内、市内観光資料の配布、イベント情報の提供など窓口相談対応に努めています。

※通常の案内業務は、毎週月曜日と年末年始を除く、午前10時から午後5時まで。
なお、令和４年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、案内所を閉所することはありませんでした。

○令和４年度案内業務件数

＊ＪＲ高槻駅観光案内所（案内件数：１８，３８１件）

Ⓐ観光案内　来訪　５，４４１件　電話対応　６１件
Ⓑ交通案内　来訪　１，６７８件　電話対応　１２件
Ⓒ宿泊案内　来訪　４５２件　電話対応　１３件
Ⓓ催し案内　来訪　２，５８１件　電話対応１０７件
Ⓔ暮らし案内（主に病院など生活関連施設案内）
来訪　２，４２２件　電話対応　１１件
Ⓕ物品販売案内　来訪　３，２５６件　電話対応　６件
Ⓖその他（コインロッカー場所の問合せなどⒶ～Ⓕに入らないもの）
来訪　２，５５１件　電話対応　９７件
Ⓗ外国人案内対応（案内内容：観光、催し、交通等）　３０件

＊高槻市観光協会事務所（案内件数：６，３７６件）

Ⓐ観光案内（情報コーナー展示にかかる問合せを含む）
来訪　７７２件　電話対応　９７件
Ⓑ交通案内　来訪　１，０２０件　電話対応　１０件
Ⓒ宿泊案内　来訪　１９件　電話対応　１件
Ⓓ催し案内　来訪　３５９件　電話対応　６１件
Ⓔ暮らし案内（主に病院など生活関連施設案内）
来訪　３４９件　電話対応　２件
Ⓕ物品販売案内　来訪　２，３０５件　電話対応　０件
Ⓖ観光情報コーナー案内　来訪　７６５件　電話対応　１件
Ⓗその他（コインロッカー場所の問合せなどⒶ～Ⓕに入らないもの）
来訪　７８７件　電話対応　７１件
Ⓘ外国人案内対応（案内内容：観光、催し、交通等）　来訪　３件

（３）収益事業

① 観光案内所事業

高槻市観光協会事務所においては、高槻市交通部からの定期券の委託販売、市営バス案内業務並びに物販、たかつき土産の展示等を行いました。

また、JR 高槻駅観光案内所においては、はにたんグッズの他、高槻商工会議所と連携し、たかつき土産（和菓子その他）１２１品を販売しました。

高槻駅観光案内所の展示

【高槻市観光協会事務所】

・高槻やよいグッズ販売数量 （アクリルスタンド、缶バッジほか）	１，９８８品目
・定期券販売実績	３９７枚
・市営バス IC カード（Tsukica）	１０２枚
・ハイキングマップ等出版物の販売	７６冊
・はにたんグッズ販売数量	１７９品目
・市営バスグッズ（サウンドバス、チョロ Q ほか）	１９品目
・トレーディングカード	４１枚
・ふるさと納税返礼品	３４２件
・高槻市プレミアム付き商品券	１，５３２冊

【ＪＲ高槻駅観光案内所】

・催物販売チケット（和太鼓フェスティバル）	８０枚
・ハイキングマップ等出版物の販売	２９８冊
・はにたんグッズ等販売数量	４２８品目
・市営バスグッズ（サウンドバス、チョロ Q ほか）	５８品目
・トレーディングカード	１９枚
・高槻市プレミアム付き商品券	１，５７９冊

② 駐車場運営事業

令和４年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による駐車場閉鎖などもなく、摂津峡公園や芥川城跡等に来られる方々の有料駐車場として下の口駐車場を運営し、観光事業全般にわたる運営経費に収益として充当しました。また、上の口駐車場については、芥川漁業協同組合に管理運営を委

託し、対応しました。

（４）高槻市観光協会のプレゼンスを高めるための取組み

高槻市の活気のあるまちづくりに貢献するという「高槻市観光協会」の組織的なプレゼンスを高めるため、高槻市内で開催される「高槻ジャズストリート」や「安満遺跡青銅祭」、「古墳フェス come come はにコット」など主要な事業の共催や後援することを通じて、協力金の交付など事業連携の強化を図りました。これらの取組により、市内において活性化に貢献するという高槻市観光協会の組織コンセプトの明確化を図りました。